

### 故郷に帰り初宮参り

「小さな神社」奉納五十年にあたり  
 豊作、大漁、無病息災、商売繁盛、学業成就、恋愛、安産等私達は、その時々願いによって神様を拝み、祭ってきました。その神様のいる代表的な場所が、私達が初詣に行く神社です。普段は神社にいる神様ですが、祭りの時にだけ特別に神輿に乗って人々のところにやってくるのです。神輿は言わば（小さな神社）であり、人々生後百日目に誕生奉告と健康やかな成長を祈願する初宮参り、子の守り神である乳神様のご神徳も広まり、町外からの参拝も増えていきます。四月に無事子が生まれた民安さんは「自分が生まれ育った浦幌町の空気を子供にも吸わせた」と里帰り、家族そろって氏神様に健康祈願されました。人は母体の子宮に生命を宿します。子宮とは「子のお宮」



おめでとう！民安和佳さん

お宮とは神社の事ですから、生命を宿した瞬間から誰もが神様に守られていのです。初宮参りはその感謝と今後のご守護を祈る大事なお祭りです。

「小さな神社」奉納五十年にあたり  
 豊作、大漁、無病息災、商売繁盛、学業成就、恋愛、安産等私達は、その時々願いによって神様を拝み、祭ってきました。その神様のいる代表的な場所が、私達が初詣に行く神社です。普段は神社にいる神様ですが、祭りの時にだけ特別に神輿に乗って人々のところにやってくるのです。神輿は言わば（小さな神社）であり、人々生後百日目に誕生奉告と健康やかな成長を祈願する初宮参り、子の守り神である乳神様のご神徳も広まり、町外からの参拝も増えていきます。四月に無事子が生まれた民安さんは「自分が生まれ育った浦幌町の空気を子供にも吸わせた」と里帰り、家族そろって氏神様に健康祈願されました。人は母体の子宮に生命を宿します。子宮とは「子のお宮」

### 浦幌神社初代の御輿



昭和24年9月20日御輿渡御の様子

はそれに感謝しそして拝みます。今年が浦幌神社に現在の神輿が奉納されて五十年の節目にあたります。又、浦幌三五四會が発足して三十一年経過しました。私達世代は先祖を敬う事の大切さを忘れず恵まれた環境の中で生活できる事と書きます。

### 清々しく清掃奉仕



春秋の二回、十勝明るい社会作り運動推進協議会（浦幌町地区代表小倉忍）による清掃奉仕が行われ、落ち葉などを掃き清めて下さいました。毎年続けられていく皆様の崇敬の念に深く感謝申し上げます。

### 昭和33年9月8日2基目の神輿奉納



同年9月20日新御輿による渡御の様子

に感謝しなければなりません。祭日当日は三五四會の若人等によって神輿が町内を練り歩くのですが、思い出多いふる里に理屈を超えた心の結びつきが大切だとの精神を子や孫へと継承する為、感謝の心を忘れずに頑張りたいと思います。

### 神まさんごが知りたい

○お稲荷様について教えて下さい。  
 ○お稲荷様と言えば狐を想い浮かべますが、狐を祀っている訳ではありません。イナリの語源がイネナリ（稲ナリ）からきている様に稲魂の神、食物の神がお稲荷様です。狐は稲の稔りが近づくと山から里へ下りてくるので豊穰をもたらすお稲荷様のお使えとして信仰されています。稲荷神社の総本宮は京都の伏見稲荷大社で、古くからその信仰は全国各地に広がり、商売繁盛や漁業の神としても祀られています。小さな祠も入れると全国百万社の稲荷神社があると言われていきます。浦幌でも明治後期に宝町（現池戸商店北側）に祀られ商店の人や芸者さんに信仰されていたようです。現在は境内に遷されましたが、今もなお農業、漁業、商工業の守護神として皆様をお守り下さっております。

### 浦幌神社 境内の稲荷神社



昭和13年に宝町より遷座 社は当時のままである